

令和3年度企画提案型協働事業提案書に対する市民活動推進委員からの意見、質問と

団体、担当課からの回答

令和3年10月1日

質問

市にお尋ねします。委託事業になる見込みはあるのでしょうか。この先の見通しと、委託事業化が難しいのであれば何がネックなのか、どういう条件ならば委託事業に移行できるのか、教えてください。

回答（担当課）

竹袋調整池は平成21年から協働事業により維持管理を行っており、四季の花を用いた花畑づくり等団体の長年の活動により、木下地区を代表する憩いの場として重要なスポットとなっております。

市が維持管理をする場合には、公園の管理と同様に草刈りや清掃など維持管理を行うことは可能ですが、市内に都市公園186公園がある中で、竹袋調整池を今まで協働事業で行ってきた維持管理と同様に行っていくことは難しいものと考えております。

このことから市といたしましては、協働事業を継続していき、地域の意見を取り入れながら、より皆様の楽しめる環境づくりに努めていきたいと考えております。

質問

今回の提案では、前年度の提案と比べ市の負担が約30万円程度減額している。その理由は、芝桜の植栽をやめることに起因していると思うが、止めることとなった理由は何か。

回答（団体）

R2, R3年度で芝桜の植栽計画エリアは完了、今後は植栽後の保全管理を実施します。

質問

提案の中にあるコスモスふれあいまつりは、新型コロナのため昨年度も中止となり、今年度も難しいと思われる。今回の提案では来年度実施が提案されている。仮に新型コロナの感染が今より抑えられ、予防接種が進んだとしても人を集めるイベントである以上何らかのコロナ対策が求められると思われる。そうだとすれば、例えば、消毒液の準備、来場者の確認など、費用・人員の準備などが必要

になると思われる。新型コロナ対策は、今回の提案にどのように盛り込まれているのか。(本気で実施しようと思っているのか?)

回答 (団体)

今年度の「コスモスふれあいまつり」は中止しました。例年恒例のコスモスの刈取りは屋外なので感染症対策として現地には消毒液を設置して実施、来場者は皆さんマスク着用されて楽しんでいきます。R4年度はコロナが終息して実施可能な環境になればと予定に入れました。

なお、従来からまつりに関する費用は団体自前で対応しています。

質問

竹袋調整池で散歩する住民が以前と比べ減少しているように感じられるが、利用者をどのように把握しているのか。利用者増についての取り組みをどうしているのか。

回答 (団体)

毎日多くの地元住民がお散歩、フォーキング、ランニング等健康増進に訪れています。また、季節の花を見に来られる周辺地域もリピーターも多く、福祉施設や児童施設、高齢者施設の散歩コースにも利用され来場者は増加しています。地域ケーブルTVやミニコミ誌、行政広報、市HPへの情報提供が効果を上げています。

質問

本事業は、長期にわたり継続される必要があると思われる。そうだとすれば、事業を継続する上でポイントとなる人材の育成をどのように考えているのか。

回答 (担当課)

苗植え作業時に散歩途上でボランティアしてくれる人もあり、ありがたい限りです。若い世代は皆さん仕事や子育てに忙しく毎日が大変でなかなか難しい状況です。団体スタッフは機会を捉えて有望な人材に声掛けしているのが実態です。

意見

平成21年度より十数年に渡り、印西市民の憩いの場である竹袋調整池を多くのボランティアの協力をまとめて適切に維持管理されておられ、大変素晴らしい活動だと感心いたしました。コロナ禍の制約がまだ続きますが、作業及び感染予防にも十分に配慮して次年度も活動を行っていただきたいと

考えます。

質問

令和3年度に調整池内の清掃を予定されていると記載されています。

今年の実施事項であれば、新たな取り組みですので、なんらかの形で広報をご検討ください。令和4年の実施予定であれば、申請書の年間スケジュールの予定に加えたほうが良いと思います。

回答 (担当課)

清掃を行う土木管理課と調整させていただきます。

意見

市との協同事業として、経年に渡る維持管理事業を通して、一部の人ではなく印西市民の方々の‘憩い’の場となっている事と考えます。今後も継続した事業としての取組みを期待します。

質問

歳出の作業費の単価ですが、例えば草刈(機械)面積10,000㎡7回で単価が150,000円とありますが、150,000円の内訳はどのような内容となっているのでしょうか。

回答 (団体)

池周囲の法面傾斜地はバロネスハンマーナイフ式草刈り機、広い平地はトラクターロータリー草刈り機、遊歩道保護柵周りや狭い場所等は肩掛け式エンジン刈払機等、作業場所に適した器具を使用しています。

質問

コロナ渦の中で、感染症対策はマスクと考えますが、費用としての計画はないのでしょうか。

回答 (団体)

マスクは個人対応が基本ですが、作業時の団体で消毒液・マスクを準備いつでも交換・消毒できるよう準備しています。なお、費用は団体自前で協働事業経費には計上していません。

質問

総事業費(無償分を含む)が4,203,000円とありますが、今後も企画提案型協働事業として維持管

理事業を継続する場合、総事業費の削減策はありますでしょうか。

回答 (団体)

提案事業の維持管理を継続するうえでの必要な作業と考えています。

質問

会員15名とボランティアの協力体制での運営とありますが、今後、印西市民へボランティア参加を促進する手段としての取組みや考えはあるのでしょうか。提案者が負担する無償労働力が増えれば総事業費を抑える事が出来ると思いますがいかがでしょうか。

回答 (団体)

従来からボランティア参加の声掛けは実施しており、参加もあります。ボランティア参加は当然ですが無償です。

質問

長年にわたる協働事業の推進によって当該地域の周辺環境は非常に良くなってきていると思います。一方、貴 NPO 法人の高齢化によるマンパワーの不足について、以前から懸念されていたと思いますが、若い人材の加入等は進んでいますでしょうか？

回答 (団体)

高齢化は社会の現状ですのでやむを得ませんが皆で頑張っています。昨年、若い方の参加があり頑張ってくれています。今後も情報発信して声掛けに努めていきます。

質問

(土木管理課での実施事業について)

本年度は調整池内の清掃を行う予定とあります。以前から、水草の繁茂が進行になっているという指摘があります。調整池内の清掃により水草が一掃されるのかどうか教えてください。

回答 (担当課)

竹袋調整池の清掃は、調整池としての機能回復を目的とした堆積土砂の除去を予定しておりますが、水草等も併せて処分できるよう検討しております。

なお、竹袋調整池の全域の堆積土砂を全て撤去するには、土砂を受入れることが可能な施設の処理能

力の都合や、繁茂した水草等の除去方法などの課題があり、時間を要することが想定されております。令和3年度の清掃では、まず、竹袋調整池の流入口付近の清掃を実施し、土砂の堆積状況等を確認いたしまして、計画的に調整池の機能回復に努めて参りたいと考えております。

質問

(提案書様式②「協働事業計画書」について)

提案者と市の役割分担に係る「事業の内容」と「事業に要する経費」が一致していないように思料しますが、説明をお願いします。

回答 (団体)

提案者の事業内容は無償労働力分で負担経費は案内看板掲示類とし尿汲み取り料です。事業内容への記載が漏れていました。

質問

事務局連絡で「調整池の取り扱いについて、令和2年度から都市整備課を中心に関係各課と協議が開始されました」とありましたが、どのような視点から協議が行われているのかお聞かせください。

回答 (担当課)

調整池としての安全性について関係各課と協議を行い、調整池の管理については土木管理課において行うこととなり、令和3年度においては調整池の清掃を実施することとなりました。

質問

365号線側からだけでなく、反対側、ニュータウン側(天神幼稚園の方など)から車で行ける道があると良いと思う。安全に。NT側から近くなり、もう少し気軽に行け、楽しめるようになると思われる。また、地元感も出てくるのではないか。

回答 (担当課)

ご意見については、市道の整備を担当する部署へお伝えさせていただきます。

意見

令和2年度評価報告書を拝読いたしました。

コロナ渦中各団体ともご苦勞を重ねられたことかと思えます。事業内容により大きく活

動の制約を受けた事業と、比較的順調に初期の計画を遂行された事業があったことかと
拝察いたしました。

令和3年度企画提案型共同事業提案「竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業」について
提案書を確認しました。

当事業は過去からの継続事業で実績を重ねておられ、令和2年度の事業評価において
も自己評価、担当課からの回答ともに高い評価ですので、特に質問はありません。